

氏名 くりはら貴子



マニフェスト・選挙公約

理念

政治家を目指した理由

3人娘の子育てをしながら、中小企業の経営を支える公認会計士としての仕事の両立は、様々苦勞もありました。でも多くの経営者とお話したことは、今では私の貴重な財産です。
子育てする母として、働く女性として感じたことや公認会計士として培った経験を私自ら政治の世界に届けたいと思い政治の道を志しました。

ビジョン

地域のありたい姿

大阪で住みたい、働きたい、学びたい、遊びたい、多くの方々からそう思っていただけの街、大阪。
安心して暮らせる安全な街、大阪。大阪府が大阪市、堺市をはじめ、すべての市町村とシッカリつながることで、東京と並ぶ西日本のリーダーとして人が集まり活気あふれる街、大阪となるよう全力で取り組んでまいります。

解決したい課題

役所のしくみを変えさえすれば良くなるという考えから脱却すること。
大切なのは「しくみ」ではなく「なかみ」であることを認識すること。
これからも府市統合と言って大阪市の方ばかりを見る府政運営ではなく、府内すべての市町村に目配りし支援する
そんな大阪府政に大転換したい。

解決するための重要政策(優先順位の高い順に3つまで)

(政策分野はセルをクリックすると選択肢が表示されます。1つ以上選択肢の中からお選びください)

政策分野 51.その他

大阪の課題を大阪府、市だけでなく堺市も含め話合うことが大切。仮に大阪市が廃止され特別区が設置されたとして、今度は特別区と大阪府の話合い、特別区同士の話合い、特別区長と区議会の話合い、大阪府知事と府議会の話合いなど話合いの場が移るだけ、結局話合うことで課題解決を図るのが民主主義。認識を皆が共有すべき。

政策分野 21.財政再建

目の前のお金を作り出すため府民の資産を減らし、借金を増やしてきた。結局負担を将来世代に先送りしている。今では大阪府は起債許可団体(借金するのに国の許可が必要)。思い付きの発想で実施された施策をすべて見直すなど徹底した行財政改革が必要。成長を促す投資となるような行財政改革が必要と考えます。

政策分野 30.行政改革

人事評価は職員の公平な処遇、人材の育成・活用、組織の活性化などを図り真に府民のための府庁となるよう行うもの。職員を辞めさせそれを自慢するために行うものでない。相対評価制度は見直す。
公募で民間の風を取り入れると意気込んでみたが結局は大部分が内部登用。
「原則公募」から「公募できる」に改める。

政策注力分野

| | | | | | | | | 合計 | 100% |
|------|------|--------|--------|------|----------|----|----------|---------|------------|
| 社会保障 | 産業政策 | 社会資本整備 | 教育・子育て | 農林漁業 | 税財政・財政再建 | 労働 | 環境・エネルギー | 行政・議会改革 | 安全・防災・震災復興 |
| 0% | 20% | 0% | 20% | 5% | 20% | 5% | 5% | 5% | 20% |

【個別テーマ】

テーマ① 安心・安全（医療等各種社会保障や子育て支援、防災対策、防犯対策 等）
 （優先順位の高い順に3つまで）

| | |
|--|--------|
| 第1優先 内容： 出産・子育て応援社会の実現 | |
| 期限 | — 目標 — |
| 手順 女性M字カーブの問題など国も本気で取り組を始めた。様々な問題が部局横断的に横たわるため府庁に専属の部局を設ける。国・府・市と政策が1本の線につながることで最大限の効果を発揮する。待機児童解消、医療・救急なんでも電話相談の創設、子ども医療費の府費負担の拡大など、あんしんして暮らせる街、大阪を実現する。 | |
| 第2優先 内容： 教育の立て直し | |
| 期限 | — 目標 — |
| 手順 子ども達の現状を把握し一人ひとりに寄り添った教育に転換する必要がある。そのためには現場の教員の質の向上が最優先課題。その上で一部のできる子を引き上げるやり方から子ども全体の平均点を上げるやり方に改める。公募校長、学区撤廃、入試制度の変更、英語主義、できる子優遇などすべて検証し必要に応じ再構築する。 | |
| 第3優先 内容： 大阪のまちをつよ化する(強靱化) | |
| 期限 | — 目標 — |
| 手順 命と暮らしを守ることは行政に課せられた使命。防災対策に積極的に取り組むことで事業活動の基盤強化にもつながる。イベント予算など思いつきの実施された事業予算をすべて見直すことで財源を生み出す。政府自民党出身の知事という強みを生かし国との連携を強化し府民の命と暮らしと仕事を守るため全力で取り組む。 | |

テーマ② 大阪の活性化
 （優先順位の高い順に3つまで）

| | |
|---|--------|
| 第1優先 内容： 中小企業支援 | |
| 期限 | — 目標 — |
| 手順 企業を大阪に呼び戻すことに尽きる。この間、新産業創出にばかり予算が使われた。もっと足元を見つめるべき。大阪の企業の大部分を占める中小企業をシッカリ支援することが重要。そうすることで経済の循環を生み出す。企業を大阪に誘致するための優遇税制も検討する。 | |
| 第2優先 内容： 観光戦略 | |
| 期限 | — 目標 — |
| 手順 観光戦略も大阪の活性化の大きな柱。一過性のものにならないよう取り組む。大阪観光局を中心に大阪のふるさと魅力を発掘・発信するなど大阪再発見が必要。観光戦略は大阪だけでは限界がある。日本の世界遺産19のうち5つが近畿圏に集中しているので、広域連携によって広域観光ルートを確立することも必要と考える。 | |
| 第3優先 内容： 交通ネットワークをひろげる | |
| 期限 | — 目標 — |
| 手順 リニア中央新幹線の大阪・名古屋同時開業、北陸新幹線の大阪への早期接続、大阪を中心とした鉄道網計画の策定など、大阪経済の活性化のため、どうしても必要なものばかり。政権与党自民党出身の知事として、与えられた1期4年の任期中、あらゆる手立てを駆使して、必ず答えを出します。 | |

【個別テーマ】

テーマ① 安心・安全(医療等各種社会保障や子育て支援、防災対策、防犯対策 等)
(優先順位の高い順に3つまで)

| | |
|----------|--|
| 第1優先 内容: | 防災に強い国 |
| 期限 | 出来るだけ速やかに |
| 目標 | 副首都”大阪”の確立 |
| 手順 | 東京一極集中は、地震等の大災害時に国家機能の全てがストップしてしまうので、復旧復興が困難であるというリスクが表面化している。大阪に首都機能の一部を持たせ、先ずは二極化することによりそのリスクを解消し、その後多極分散型の国家を確立する。それを支える地方自治制度としての道州制を目指す。 |
| 第2優先 内容: | 府市の縄張り争いをなくして大阪全体で域内防災力を強化 |
| 期限 | 出来るだけ速やかに |
| 目標 | 3か年以内に重点地域における防潮堤の整備等を推 |
| 手順 | 府市一体で防災力強化。逃げる、凌ぐ、防ぐ、を基本方針に。 ハード面:防潮堤の津波浸水対策を早急に推進。消防施設・装備の充実(大阪消防庁の設立)。災害に強いみどり空間整備。府強靱化計画による防災力強化。拠点病院耐震化補助 ソフト面:防災講演、ハザードマップ作製など、リスク周知。大阪880万人防災訓練。 |
| 第3優先 内容: | 健康・医療・福祉施策全般の再構築 |
| 期限 | 出来るだけ速やかに |
| 目標 | 福祉医療の充実 |
| 手順 | 真に支援を必要としている人々に必要なサービスを提供する理念の下、以下を推進。保険制度の広域化。大阪版ネウボラの検討。療育制度の充実。虐待予防ネットワークの充実。全国最高水準の妊婦健診費用助成・検診項目拡充。基幹病院と大学・企業を結ぶコンソーシアム創設。医療圏の再編・南部の医療体制を強化。 |

テーマ② 大阪の活性化

(優先順位の高い順に3つまで)

| | |
|----------|---|
| 第1優先 内容: | 二重行政解消のための統治機構改革 |
| 期限 | 任期中 |
| 目標 | 統治機構再編のための住民投票 |
| 手順 | 現状の大阪戦略調整会議では二重行政解消に向けた方向性を見出す状況ではなく、行政の仕組みを根本的に変える統治機構改革が必要。これまで以上に府民の皆さまと十分に議論を尽くし、納得を得られる、大阪の新しい設計図を作り直したい。まずは府市の公務員が協働できる府市共同チームをつくり具体化作業に着手する。 |
| 第2優先 内容: | 大阪府・大阪市一体の経済成長戦略 |
| 期限 | 出来るだけ速やかに |
| 目標 | 実質成長率年平均2%以上 |
| 手順 | 統治機構改革に先んじて府市一体で以下の経済成長戦略を進める。 ・産業振興機構の府市統合など、産業育成の基盤整備 ・地方税ゼロなど特区の活用 ・創薬など、先端技術産業の拠点形成 ・リニア同時開業、北陸新幹線大阪開通、大阪域内ネットワーク整備など、広域インフラ整備 |
| 第3優先 内容: | 国際エンターテインメント都市”OSAKA”の実現 |
| 期限 | 出来るだけ速やかに |
| 目標 | 2020年外国人訪問客数650万人、ゆくゆくは世界一を |
| 手順 | 統治機構改革に先んじて、以下の府市一体の戦略で、国際エンターテインメント都市へ進化させる。 ・大阪観光局の活用 ・統合型リゾート(IR)の誘致 ・国際万博の開催 ・国際人材の育成確保 ・夜間経済の振興(関西空港対応) ・宿泊施設の確保、民泊の活用 ・うめきた2期、御堂筋、中之島等都心の再生 |

【個別テーマ】

テーマ① 安心・安全（医療等各種社会保障や子育て支援、防災対策、防犯対策 等）
 （優先順位の高い順に3つまで）

| | |
|--------------------------------|----|
| 第1優先 内容： 医療費の負担軽減 | |
| 期限 | 目標 |
| — | — |
| 手順 | |
| — | |
| 第2優先 内容： あらゆる差別の廃止。いじめ、差別をなくす。 | |
| 期限 | 目標 |
| — | — |
| 手順 | |
| — | |
| 第3優先 内容： 犯罪のない大阪に。食料品の非課税化。 | |
| 期限 | 目標 |
| — | — |
| 手順 | |
| — | |

テーマ② 大阪の活性化
 （優先順位の高い順に3つまで）

| | |
|------------------------------------|----|
| 第1優先 内容： 大阪国構想。自立した地域に。国際的に信頼の大阪を。 | |
| 期限 | 目標 |
| — | — |
| 手順 | |
| — | |
| 第2優先 内容： 世界各都市と大阪間の直行便。 | |
| 期限 | 目標 |
| — | — |
| 手順 | |
| — | |
| 第3優先 内容： 国際交流の推進。学生を派遣及び受け入れ。 | |
| 期限 | 目標 |
| — | — |
| 手順 | |
| — | |